

学校再編だより - 第1号 -



平成24年8月8日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

市民協働の話し合いの場 「地域検討会議」を開催します！！

教育委員会では、少子化による学校の小規模化を最優先の教育問題として、『教育の機会均等』や『教育水準の維持向上』を図るため、『香取市学校等適正配置計画実施プラン』を策定しました。これは、よりよい教育環境を整備することにより、子どもの学力向上や、豊かな人間関係を通じて、心身の成長を図ることを学校再編の基本としています。

学校運営は、地域、家庭の相互の連携協力により行われています。学校再編についても、『地域、保護者、学校等が一体となり検討し、円滑に推進する』としています。

地域検討会議を次のとおり開催します。この会議は、傍聴することができますので、是非、一緒に子どもたちのことを考えてみませんか。

日 時	平成24年8月22日（水）午後7時から
会 場	香取市立湖東小学校「みんなの広場」
議 事	①地域検討会議の設立について ②地域検討会議設置要綱の制定について ③役員を選出について ④今後の検討方法について ⑤意見交換

※ 会場には限りがありますので、入場を制限することがございます。

学校再編だより - 第2号 -



平成24年9月25日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

市民協働の話し合いの場 「地域検討会議」を立ち上げる！！

平成24年8月22日、湖東小学校で学校統合問題について話し合う検討組織「香取市立湖東小学校地域検討会議」を立ち上げました。この検討会議は、学校再編を市民協働で検討し推進するため、地域住民の代表者・保護者の代表者・学校教育関係者の委員18名で組織しています。

少子化はますます進み、いろいろな問題を社会に投げかけています。そのひとつとして学校の小規模化が挙げられます。湖東小学校は現在60名の児童がいますが、6年後の平成30年度には27名となってしまいます。このままの状況が続くと^(注1)複式学級となる学級が出てきます。

香取市学校等適正配置計画実施プランでは、複式学級を解消するとともに、少なくともグループ学習ができる1学級20人程度を確保し、一つの学校の児童数を120人を超える程度に再編し、「教育の機会均等」「教育水準の維持・向上」を図ることを目的としています。

次代を担う子どもたちのこれからの教育環境について市民協働で話し合う場が「地域検討会議」です

地域検討会議を次のとおり開催します。この会議は、傍聴することができますので、是非、一緒に子どもたちのことを考えてみませんか。

(注1) 複式学級・・・二つの学年の児童数が16人以下（1年生を含む場合は8人以下）になると、一つの教室で、一人の先生が二学年の授業を行うこと。

- | | |
|----|--|
| 日時 | 平成24年10月16日（火）午後7時から |
| 会場 | 香取市立湖東小学校「みんなの広場」 |
| 議事 | ① 前回会議録の承認について
② 役員を選出について
③ 学校再編に係る検討事項及び検討方法について
④ 意見交換 |

※会場には限りがありますので、入場を制限することがございます。

学校再編だより - 第3号 -



平成24年10月31日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

地域検討会議役員人事決定！！

平成24年10月16日（火）午後7時から湖東小学校「みんなの広場」で第2回香取市立湖東小学校地域検討会議を開催しました。

会議は、①前回会議録の承認について ②役員
の選出について ③学校再編に係る検討事項及び
検討方法について ④意見交換を行いました。（出
席委員18人中16人、傍聴者4人）

前回会議録については承認を得て、役員
の選出については、次のとおり決定しました。



- 会 長** 三島区自治会長 山來 健夫 氏（地域住民代表）
副 会 長 湖東小 PTA 会長 高橋 直明 氏（保護者代表）
理 事 八筋川区自治会長 椎名 薫 氏（地域住民代表）
理 事 主任児童委員 森 和子 氏（地域住民代表）
理 事 香取市消防団副分団長 霞鳥 優 氏（地域住民代表）

今後の地域検討会議の進め方については、委員の皆さんから様々なご意見等が出されました。湖東小学区内で学校再編について地域の皆さんにさまざまな観点から話し合っただき、その意見を各地区、PTA で集約しそれを持ち寄り地域検討会議で検討協議することが重要であるとの意見でまとまりました。

次回は、教育委員会から「通学手段」や「小規模校のメリット・デメリット」また、「他の地域検討会議で出た意見・質問等」を提示し、地域検討会議を行います。会議は、傍聴することができますので、是非、一緒に子どもたちのことを考えてみませんか。

- | | |
|------------|-------------------------------------|
| 日 時 | 平成24年11月21日（水）午後7時から |
| 会 場 | 香取市立湖東小学校「みんなの広場」 |
| 議 事 | ①前回会議録の承認について
②学校再編について
③意見交換 |

※会場には限りがありますので、入場を制限することがございます。

学校再編だより - 第4号 -



平成25年2月1日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

次代を担う子どもたちの教育について

一緒に考えましょう！！

前回（平成24年11月21日開催）の会議で、湖東小学校の再編について湖東小学区内の各地区で話し合いを行い、その内容や各地区での意見等を持ち寄り、第4回香取市立湖東小学校地域検討会議を開催することになりました。

学校統合は、次代を担う子どもの教育環境の向上を図ることが大きな目的です。地域の皆さんと一緒にこの問題に取り組むために地域検討会議を立ち上げ、これまでに3回の会議を行ってきました。会議は、公開することになっておりますので、どなたでも傍聴することができます。

是非、将来ある地域の子どもたちのことを一緒に考えましょう。

【これまでの会議の概要】

第1回（平成24年8月22日）

地域検討会議の設立

第2回（平成24年10月16日）

役員選出

会議の進め方

第3回（平成24年11月21日）

委員の追加承認

湖東小の歴史と伝統

小規模校のメリット・デメリット

前回の会議の様子



第4回 香取市立湖東小学校地域検討会議

日時 平成25年2月27日（水）午後7時から

会場 香取市立湖東小学校「みんなの広場」

議事 ① 前回会議録の承認について

② 地区説明会の結果について

③ 意見交換

※会場には限りがありますので、入場を制限することがございます。

学校再編だより - 第5号 -



平成25年3月12日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

第3回香取市立湖東小学校学校再編に係る地域検討会議で、学校統合について、より多くの地域の方に知っていただくために各地区で説明会を行うことになりました。

各地区で出た主な意見や質問、また、これまでの地域検討会議や地域説明会での質問等を要約すると次のとおりです。

①平成25年度は複式学級が確定なのか。

複式学級とならないように、講師について予算要求をしています。仮に、今回予算が付いても平成26年度以降、恒常的に予算が付くかは分かりません。

複式学級とは、二つの学年の児童数が16人以下になると、一人の先生が一つの教室で二学年の授業を行うことです。（一年生を含む場合は、8人以下）これは、通常一時間の授業の半分を自習することになり、児童にも先生にも負担が大きいとされています。

児童数が少なければ「きめ細かな指導が行いやすい」「個々の活動の場が広がる」「異学年との交流が深まる」などのメリットがあります。しかし、逆にデメリットもあります。「友人関係の固定化や序列化」「切磋琢磨する機会が少なくなる」「部活動等の選択ができない」「コミュニケーション能力が育ちにくい」などです。先生方も児童のために工夫し、デメリットの解消に努めていますが、ある程度の人数がいないとできない球技や合唱等の団体活動に制約が生じます。

②スクールバスの運行について

スクールバスは、低学年（1～3年）と高学年（4～6年）に分け、登校時2便・下校時2便の運行をします。スクールバスには添乗員を同乗させ、利用者の安全確保を図ります。バス停までは集団登下校とし、低学年の場合、保護者の協力を得てバス停までの見守りをお願いしたいと考えています。詳細なバスルートやバス停の位置は、保護者の方と話し合っていて決めていきます。なお、スクールバスの運行に係る費用はすべて教育委員会が負担します。

③小学校が無くなることで地域の過疎化につながる。まちづくりと一体となって考えるべきではないか。

学校統合は、少子化に伴う学校規模の小規模化を教育行政の喫緊の課題として、「教育の機会均等」「教育水準の維持向上」を図るため取り組んでいます。また、まちづくりは、まちづくり条例に基づき地域が主体となり地域住民のよりよい生活環境の創出を図るため中長期的な構想のもとに取り組むものであります。

少子化が著しく進行するなかで、学校の小規模化は待ったなしの状況であり、次代を担う子どもたちのよりよい教育環境を創出することが急務です。まちづくり協議会では、新島小学区と湖東小学区が一緒となり、まちづくりを推進しています。新島地域全体で新たな地域づくりに取り組んでいただければと思います。

④小規模特認校制度を活用することで、地域が活性化し、複式学級も解消されると思うが。

小規模特認校制度は、少人数ならではのきめ細かい指導や地域と連携した特色ある教育活

動を行っている小規模校で子どもを学ばせたいという保護者の希望がある場合に、一定の条件のもと、市内全域から児童の入学を認める制度です。特色ある教育活動には、地域の協力を必要とすることもあります。

この制度を活用することで、複式学級を解消することができることも考えられますが、香取市内の大半の小学校が小規模校であり、少子化の影響で、複式学級を設置する学校が今後増えることが予測されるなかで、複式学級を設置する学校のすべてに制度を活用することは大変難しいことです。このため、学校再編により適正規模の確保を図ってまいります。

⑤この統合は、対等統合なのか。新島小学区での認識が低いのではないか。

学校再編は対等です。両学区の代表者で構成する代表者会議で「学校名」「校歌」「校章」を決めます。また、統合が決まれば、両校で閉校式を行い、そして統合校で新たに開校式を行います。

新島小学区でも、地域説明会や地域の代表者等で組織する地域検討会議の設置に向けた準備会を開催し、このなかでも対等統合である旨は説明をしています。今後、地域検討会議を立ち上げ、湖東小との再編について検討協議を行ってまいります。

⑥将来的にEブロックは一中一小の小中連携教育を行うのか。

将来的には、Eブロックは北佐原小を含めた一中一小の小中連携教育を推進するが、現段階では、新島小と湖東小の統合校と北佐原小の一中二小で小中連携教育を推進します。

新島小と統合しても、少子化の影響で児童数が減少し、すぐに北佐原小と統合の話になるのであれば、北佐原小を含めた小中一貫校の設置との意見もありますが、北佐原小は佐原中へ進学しているなかで、新島中へ進学先を変更することは、地域住民の理解を必要とし、かなりの時間を要するものと考えます。この間にも、子どもたちの教育に影響を及ぼしますので、まずは新島小と湖東小の二校の統合を計画しています。

今回の実施プランでは、小中連携教育の推進と既存施設の有効活用を考えています。小中連携教育を行ううえでの新島中との近接性や既存の学校施設の規模等を考慮し、新島小を学校の位置としています。統合により必要な施設の増改築は行うこととなりますが、新島小の校舎は平成6年に新築されており、比較的新しく統合に伴う改修の必要はないと考えています。屋内運動場は、耐震性が低いため今後、耐震補強工事を行う予定です。

⑦跡地の活用について

まだ何も決まっていません。地域の意向を伺うため跡地活用検討委員会を立ち上げ話し合っ
て決めていきます。

この学校統合は、**市民協働で進める**こととしています。地域の方のご理解とご協力が必要です。次代を担う子どもたちのより良い教育環境を作り出すためにはどうしたら良いのか、地域の皆さんと共に学校再編を考えていきます。

今回の会議は、次のとおりです。

会議は傍聴できますので、地域の子どもたちの教育について一緒に考えましょう！！

日 時 平成25年4月17日（水）午後7時から

会 場 湖東小学校「みんなの広場」会場には限りがありますので、入場制限をする場合がございます。

学校再編だより - 第6号 -



平成25年5月28日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

平成25年4月17日（水）湖東小学校「みんなの広場」で、第5回香取市立湖東小学校地域検討会議が行われました。これまでの地区説明会や保護者説明会並びにPTAが中心となって行った保護者アンケートをもとに各委員から学校再編に対する意見が出されました。

その意見では、**対等統合を条件に新島小学校との統合には賛成**との意見でまとまりました。地域検討会議では現在、これまでに検討してきた内容や検討結果についての報告書をまとめ、教育委員会への報告準備を行っております。検討結果報告書の提出がありましたら、地域の皆様方にもご報告をさせていただきます。

今回は、第5回地域検討会議で出た質問についての教育委員会の考えを報告させていただきます。



4月17日の地域検討会議の様子

①スクールバスの明確な運行方法と、簡易的なバス停は整備しないのか。

スクールバスの運行は、高学年（4～6年生）と低学年（1～3年生）に分け、始業終業の時刻に合わせて、登校時2便・下校時2便の運行を予定しています。スクールバスの大きさは、今後の児童数の状況に応じて決めていきます。児童を安全に学校・停留所まで送迎することは、教育委員会の責務でありますので、添乗員を同乗させ安全運行に努めます。

バス停の位置は、1回の運行を30分程度と考えていますので、利用する児童の状況にもよりますが、各地区1箇所程度を考えており、運行ルートは循環バスのルートが想定されます。詳しいことは、保護者の方と決めていきます。

スクールバスの運行は既に栗源小と新島小で行っておりますが、簡易的なバス停の設置は行っておりません。前述のとおり利用する児童の状況によりバス停の位置を変更することもありますので、簡易的なバス停の整備は考えておりません。

②子どもたちの精神的ケアはどのように行うのか。

統合が決まりましたら統合するまでの期間、湖東小・新島小で遠足や修学旅行の合同実施や学習会を計画的に進め、円滑に統合ができるよう努めてまいります。

平成21年4月に統合した栗源小でも、学校紹介やゲーム、スポーツ交流などを行い、統合前から学校間の交流を行ってきました。

子どもたちは順応性が高く、栗源小でも統合する前に危惧されていたじめ等の問題はありませんでした。子どもたちも多くの友達ができ、楽しく学校生活を送っています。

また、統合後1～2年間は通常より教員が1～2名多く配置されますので、きめ細かな指導による子どもたちの心のケアや学習支援にも努めてまいります。

③統合を進めている間は、複式学級を取り入れない。

学校に配置される教員の数は、学級数に応じて決まります。引き続き二つの学年の児童数が16人以下（1年生を含む場合は、8人以下）となりますと複式学級となります。通常、各学校には教務主任や専科として学校運営を行う増置教員がおりますが、この増置教員が学級担任として学級運営を行うことで、複式学級を解消することができます。しかしこの場合、増置教員の本来の業務を他の教員が負担することになりますので、教員一人ひとりの負担が増え、児童にも影響が及ぶことになります。

湖東小の場合、複式学級が複数となりますので、増置教員が学級担任となっても複式学級が一つできます。このため、市費で講師を雇い、学級担任を支援し複式学級のデメリットを解消していますが、これは、暫定的な措置です。このため、市の財政状況により複数年措置できるか確約はできませんが、財政部局に対しては強く要望してまいります。

④学童保育について、統合した場合、受け入れが可能なのか。

新島児童クラブの定員は30人で、平成25年5月1日現在で、21人が利用しております。その内訳は、新島小8人、湖東小1人、北佐原小12人で定員には達していません。

利用できる児童は、市内に居住している、小学校1年生から3年生で、次のいずれかに該当する児童です。

- ①両親の就労及びこれに準ずる家庭で、家庭での保育を受けることができない児童
- ②昼間、保護者が不在で家庭での保育を受けることができない児童
- ③家庭に疾病者がおり、家庭での保育を受けることができない児童

利用される児童の保護者は、子育て支援課に申請をしていただき、その時点の利用者の状況に応じて利用の可否が決定されます。

⑤学校同士の話し合いの状況について、その都度、細かく地域に回覧などで周知してもらいたい。

学校再編は、市民協働を進めることを基本としておりますので、情報は常に共有することが大事なことになります。現在、「学校再編だより」で地域検討会議の内容等について各世帯に配付し、お知らせしているところです。

今後も引き続き、「学校再編だより」等で地域の方々に情報は発信してまいります。

今後の進め方について

これから新島小学区で地域検討会議を立ち上げ、湖東小学校との学校再編について話し合っていきます。新島小地域検討会議で合意形成をいただいた後、両校の代表者で「統合の時期」「学校名」等について話し合って決めていきます。

この状況についても逐次情報を発信していきます。

学校再編だより - 第7号 -



平成25年 6月25日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

湖東小地域検討会議検討結果まとまる。

対等統合を条件に新島小学校との統合には賛成!!

湖東小学校地域検討会議は、保護者の代表者・地域住民の代表者・学校教育関係者で組織し、市が策定した「香取市学校等適正配置計画実施プラン」の湖東小学校と新島小学校の統合について検討協議を行ってきました。

地域検討会議ではこれまで、地区説明会や保護者説明会、また、PTAによる保護者アンケートを行い、地域の皆さんの意見や保護者の方の統合に対する考えを伺い、最終的に地域検討会議としての意見をまとめました。その結果は、**「対等統合とすることで賛成とし、子どもたちのためにも速やかに統合に向けた協議を開始されたい。」**です。



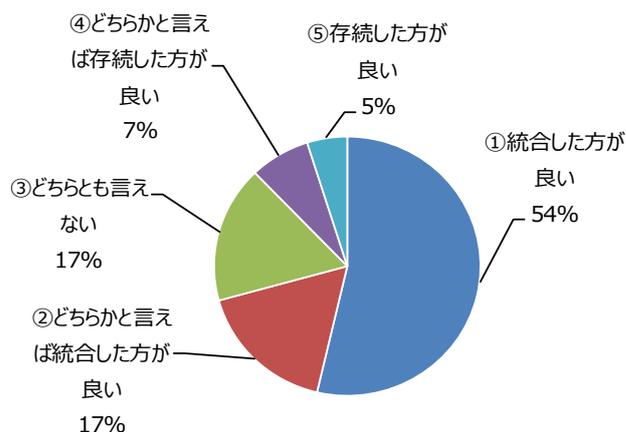
(写真) 5月16日 理事会の様子

詳しい検討結果報告書は裏面に掲載しています。

今後も、少子化が著しく進行し、学校の小規模化が顕著に現れ、学校運営が厳しくなってきます。教育委員会でも、次代を担う子どもたちの教育環境を更に充実させ、実施プランの基本指針である「教育の機会均等」「教育水準の維持向上」に努めてまいりますので、今後とも地域の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

これから、新島小学区でも地域検討会議を立ち上げ（6月24日予定）、湖東小学校との統合について検討協議を行います。この会議の情報は、随時、地域の皆様にも発信していきます。

保護者アンケートの結果



実施期間：平成25年3月27日
～4月9日
回収率：91%

裏面へ

香取市立湖東小学校地域検討会議 検討結果報告書【抜粋】

1. 検討結果

香取市学校等適正配置計画実施プラン再編ブロック案の湖東小学校と新島小学校が統合することについては、対等統合とすることで賛成とし、子どもたちのためにも速やかに統合に向けた協議を開始されたい。また、教育委員会は、保護者の統合に伴う不安を解消することに努められたい。将来的には、北佐原小学校を含めた小中一貫校の設置を望む。

2. 検討経過 省略

3. 検討の概要

実施プランの再編ブロック案 E ブロックでは、新島小学校、湖東小学校、大東分校、利北分校の 4 校を統合し、市の許容規模の120人を確保し、新島中学校と小中連携教育を推進するとしている。Eブロックの現在の状況は、平成 25 年 4 月には大東分校が本校の新島小学校へ統合となった。これらのことを含めて適正規模、適正配置について検討協議を行った。

湖東小学校の児童数は、平成 24 年 4 月現在 60 人で、複式学級があるが、増置教員で解消している状況である。このため、増置教員本来の業務は、他の教員が負担し合うことになり、教員一人一人の負担が増え、この影響は子どもたちにも及ぶことが懸念される。平成 25 年度は、複式学級を複数設置することになり、増置教員の対応でも解消されないため、講師を雇い学級担任を支援し、複式学級を解消している。平成 30 年度の児童数は 27 人に減少すると推計しており、学校の小規模化が益々進行し教育環境の低下が危惧される。

小規模校のメリットである「きめ細かな指導」や「異学年の交流」などよりも、「限られた人数の中での交友関係で、切磋琢磨する機会が少なくなる」や「コミュニケーション能力が育ちにくい」などのデメリットを解消することが必要であり、多くの交友関係を築き、互いに競い合い、そして認め合い、社会性を身に付けることが大事である。

湖東小学校 PTA が児童の保護者へ実施した「学校再編に関するアンケート」の集計結果では、「統合した方が良い」が 54%、「どちらかと言えば統合した方が良い」が 17%であり、また「存続した方が良い」が 5%、「どちらかと言えば存続した方が良い」が 7%であった。この結果から、保護者の 70%以上の方が統合した方が良いと考えている。学校統合については、保護者の意見が重要であり、このアンケート結果は尊重されるべきものである。

明治 9 年に開学した伝統ある湖東小学校が、統合により地域からなくなることで、地域の疲弊に繋がるのではないかと危惧される意見もあるが、小学校の小規模化は切迫した状況であることから、将来ある子どもたちの教育環境を優先して考えざるを得ない。

湖東小学校と新島小学校が統合しても平成 30 年度には、106 人となり市の許容規模の 120 人を下回ることから、北佐原小学校を含めた統合が望まれる。これについて、教育委員会では、北佐原小学校を含めた統合には時間がかかるとしている。その間も湖東小学校の児童数は減少することから、現段階でできる統合を優先せざるを得ない。

以上の事から、子どもたちのより良い教育環境を実現するため、湖東小学校と新島小学校の統合については賛成とし、統合に際し対等統合としていることから校名、校歌、校章などは見直しの協議を行うことを条件とする。また、統合に伴う児童のメンタルケアや通学方法などの不安について教育委員会は、保護者との話し合い等を含め、不安解消に努めていただきたい。

なお、北佐原小学校を含めた小中一貫校の早期実現を要望する。

学校再編だより

【湖東小学区】
- 第8号 -



平成25年11月28日発行
香取市教育委員会教育総務課
☎ 0478-50-1220

新島小学校地域検討会議 検討結果まとまる

湖東小学校との統合は賛成！！

両校の代表者で

「統合の時期」「学校の名称」「校歌」「校章」などを話し合う

教育委員会では、少子化の影響で学校の小規模化を教育行政の最優先課題として取り組むため、平成22年7月に「香取市学校等適正配置計画実施プラン」を策定し、市民協働で学校再編を推進しています。

市民協働で学校再編を進めるため、各小学校区の保護者の代表者、地域住民の代表者、学校教育関係者で組織する地域検討会議を設置し、学校再編について話し合いを行っています。

既に湖東小学校地域検討会議では、「湖東小学校と新島小学校が統合することについては、対等統合とすることで賛成とし、子どもたちのためにも速やかに統合に向けた協議を開始されたい。」と教育委員会に検討結果報告書の提出（平成25年5月14日付け）がありました。

この結果を受け、早速、新島小学校区で地域検討会議を設置（平成25年6月25日付け）し、湖東小学校との統合について話し合いを行いました。新島小学校地域検討会議では、広く地域の方に学校統合について周知を図るため、地区説明会や保護者説明会を行うことにしました。地区説明会や保護者説明会では、概ね湖東小学校との統合にご理解をいただき、新島小学校地域検討会議としての最終的な検討結果報告書が教育委員会に提出（平成25年10月25日付け）されました。検討結果は、次のとおりです。

【新島小学校地域検討会議検討結果】

香取市学校等適正配置計画実施プランに掲げる 新島小学校と湖東小学校の統合は賛成とする。

（新島小地域検討会議検討結果報告書の詳細は、裏面をご覧ください。）



学校統合について両校で合意形成がいただけたので、次のステップでは、両校の代表者で「統合の時期」「学校の名称」「校歌」「校章」など、学校統合の基本的事項を決めていくこととなります。

このため、10月30日（水）湖東小学校において、湖東小学校地域検討会議が行われ、代表者会議委員10名が決まりました。

また、新島小学校地域検討会議でも代表者会議委員10名が決まり、これから湖東小学校と新島小学校の統合に向けた本格的な協議が始まります。

代表者会議の検討経過や結果については、地域の方にも情報発信してまいります。

裏面へ

香取市立新島小学校学校再編に係る地域検討会議検討結果報告書【抜粋】

香取市学校等適正配置計画実施プランに係る学校再編を検討協議するため、香取市立新島小学校地域検討会議を立ち上げ、湖東小学校との統合について検討協議を行いました。その検討結果について、下記のとおり取りまとめましたので、香取市立新島小学校学校再編に係る地域検討会議設置要綱第2条の規定により提出します。

記

1 検討結果

香取市学校等適正配置計画実施プランに掲げる新島小学校と湖東小学校の統合は賛成とする。

2 検討経過（省略）

3 検討協議の概要

香取市教育委員会が平成22年7月に策定した「香取市学校等適正配置計画実施プラン」に基づき、新島小学校と湖東小学校が統合することについて、地域検討会議を組織し検討協議を行った。

湖東小学校地域検討会議では、「対等統合とすることで賛成とし、子どもたちのためにも速やかに統合に向けた協議を開始されたい。」と検討結果がまとまっている。

新島小学校地域検討会議では、この結果を受け、対等統合に対し、「学校名」「校歌」「校章」の扱いを含め湖東小学校との統合について、地区説明会や保護者説明会を行い、湖東小学校の現状などを説明し、地域住民に周知を図ってきた。

湖東小学校の児童数は、今後急激に減少し、二学年を一学級に編制する複式学級が平成27年度から常態化する見込みである。この状況は、教育環境として望ましい姿ではなく、次代を担う子どもたちには等しく教育を受ける機会が与えられなくてはならない。学校統合することで、湖東小学校の複式学級が解消され、また新島小学校でも児童数が増え、多様な考えに触れ、互いに認め合い、協力し合い、切磋琢磨する機会が増えるなど、現在の教育環境を更に向上することができる。

地区説明会や保護者説明会においても、参加者は多くなかったもののその中では、「湖東小学校との統合は賛成」とする意見が多く、概ね統合することに理解は得られていると考えられる。新島小学区として、統合後、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう地域全体で協力することが大事である。

平成27年度までに湖東小学校との学校統合を実現するためには、両校の代表者で組織する代表者会議を早急に立ち上げ、学校統合に係る基本的事項の「学校名」「校歌」「校章」などは円滑な話し合いの下に検討協議し、決定することが望まれる。

学校統合は、子どもたちの教育環境をより良くするために行われるべきであり、これまでの地域の歴史や伝統も重要なことではあるが、その歴史や伝統を継承しつつ、新たな学校として歴史や伝統を地域と学校が連携して築き上げることの方が重要である。

教育委員会は子どもたちの交流事業や保護者とよく話し合い、円滑な学校統合ができるよう十分配慮すること。

また、将来的なビジョンとして北佐原小学校との統合も望まれる。